

「ハイリスク群における健診受診後の行動と コラボヘルス事業の効果の検討」

静岡支部 保健グループ
保健専門職 飯田 聖子
主任 五十嵐 萌美(現・長野支部)

【目的】

保険者と事業所が積極的に連携し、加入者の予防・健康づくりを効率的・効果的に実行するコラボヘルスは近年注目されており、静岡支部では令和5年6月末時点で6,575事業所と全国2番目の健康宣言事業所数を有している。そこで本研究は、健診結果データと問診データを活用し、HR群の健診受診後の行動を把握するとともに、健康宣言事業所と非宣言事業所別に比較分析することにより、コラボヘルス事業の効果を検証することを目的とする。

【方法】

協会けんぽ静岡支部において、令和元年度～3年度の健診結果データ・問診データより、健診受診者の傾向をHR群・予備群・正常群に別分析した。また、HR群を健診後の受診有無別に、その後の検査値や問診項目を経年比較するとともに、健康宣言事業の有無別にも変化があるか検証した。

リスク別分析～正常群、予備群、ハイリスク群～

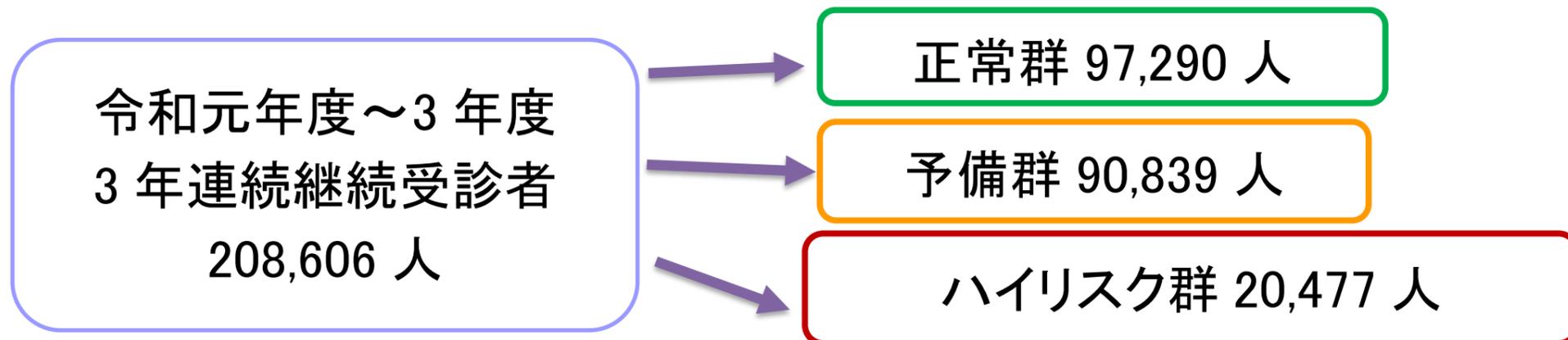
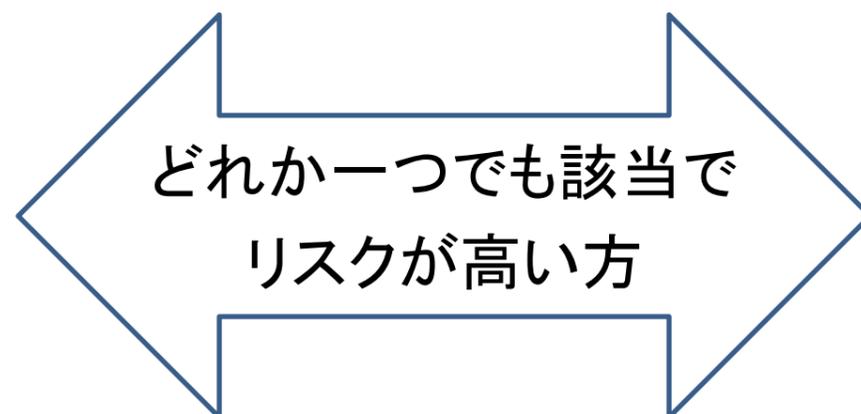
☆予備群:

収縮期血圧 130～159mmHg
 拡張期血圧 80～99mmHg
 空腹時血糖 110～125mg/dl
 HbA1c 5.6～6.4%

☆正常群: 上記にあてはまらない者

☆ハイリスク群

収縮期血圧 160mmHg 以上
 拡張期血圧 100mmHg 以上
 空腹時血糖 126mg/dl 以上
 HbA1c 6.5% 以上



【結果】リスク別分析～主に正常群とハイリスク群～

◎健診項目の各群

収縮期血圧

	正常群	予備群	ハイリスク群
令和元年度	72.2%	25.2%	2.6%
令和2年度	69.6%	27.3%	3.1%
令和3年度	69.2%	27.9%	2.9%

拡張期血圧

	正常群	予備群	ハイリスク群
令和元年度	65.0%	32.1%	2.9%
令和2年度	62.7%	34.2%	3.1%
令和3年度	62.3%	34.7%	3.0%

空腹時血糖

	正常群	予備群	ハイリスク群
令和元年度	86.8%	7.7%	5.5%
令和2年度	85.4%	8.5%	6.1%
令和3年度	84.7%	8.9%	6.4%

HbA1c

協会では、HbA1c は、健診受診者全員に実施していない

	正常群	予備群	ハイリスク群
令和元年度	43.5%	49.0%	7.5%
令和2年度	44.4%	47.5%	8.1%
令和3年度	44.0%	47.5%	8.5%

※全体的に令和元年度→2年度にかけての正常群の減少率が高くなっている。

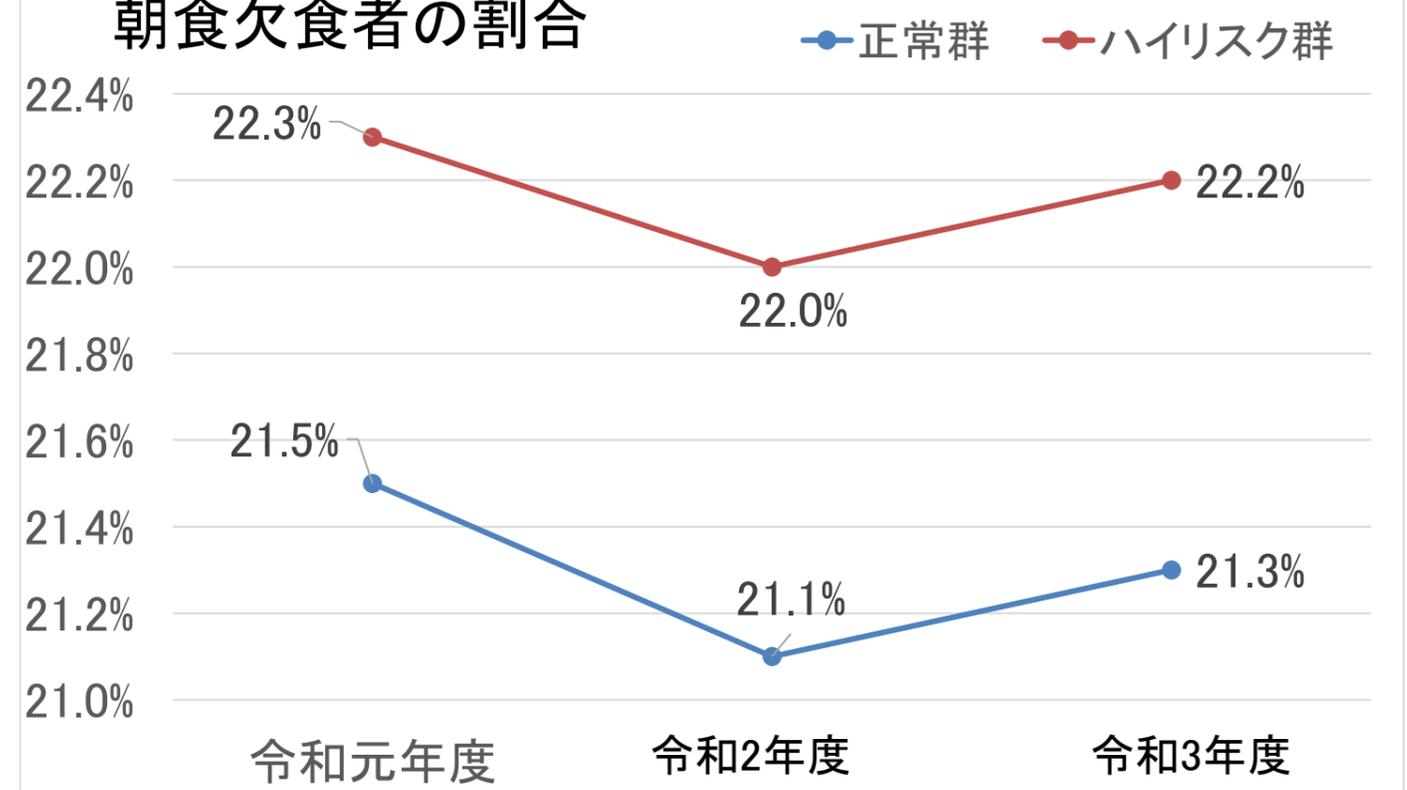
◎問診結果のカイ二乗検定

★朝食を抜くことが3回以上ある ****P<0.01**

令和3年度	ハイリスク群	正常群	合計(人)
朝食抜くことがある	4,879	18,782	23,661
朝食抜くことがない	17,147	69,395	86,542
合計	22,026	88,177	110,203

令和元年度は、***P<0.05** 2年度も ****P<0.01**
朝食を抜くことの有無は、HR群か正常群で有意な差が得られた。

朝食欠食者の割合

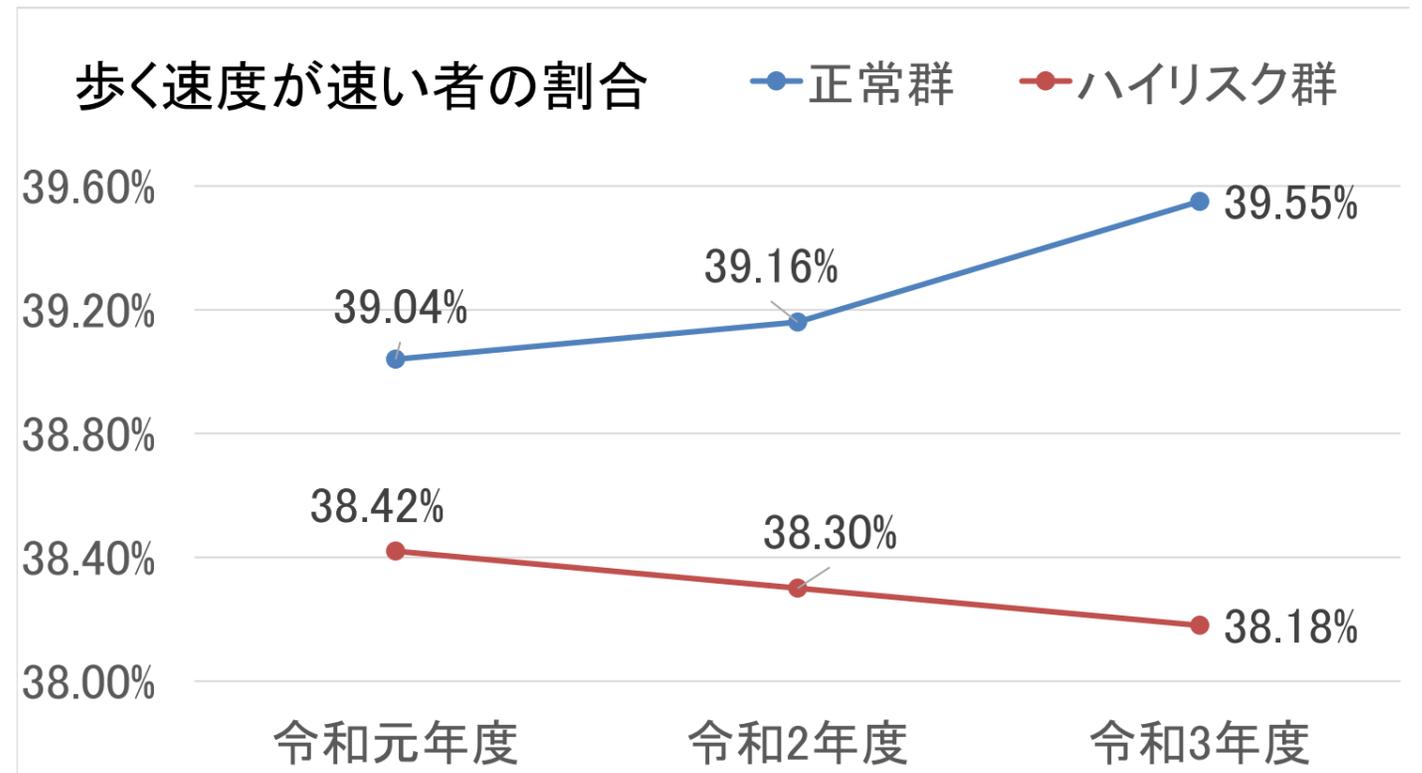


★同じ年代の同性と比較して歩く速度が速い

**P<0.01

令和3年度	ハイリスク群	正常群	合計(人)
歩く速度が速い	8,740	35,898	44,638
歩く速度が遅くない	13,192	51,833	65,025
合計	21,932	87,731	109,663

令和元年度、2年度は有意な差が得られず。ただ、正常群は年々増加しているが、ハイリスク群は年々割合が減少している。



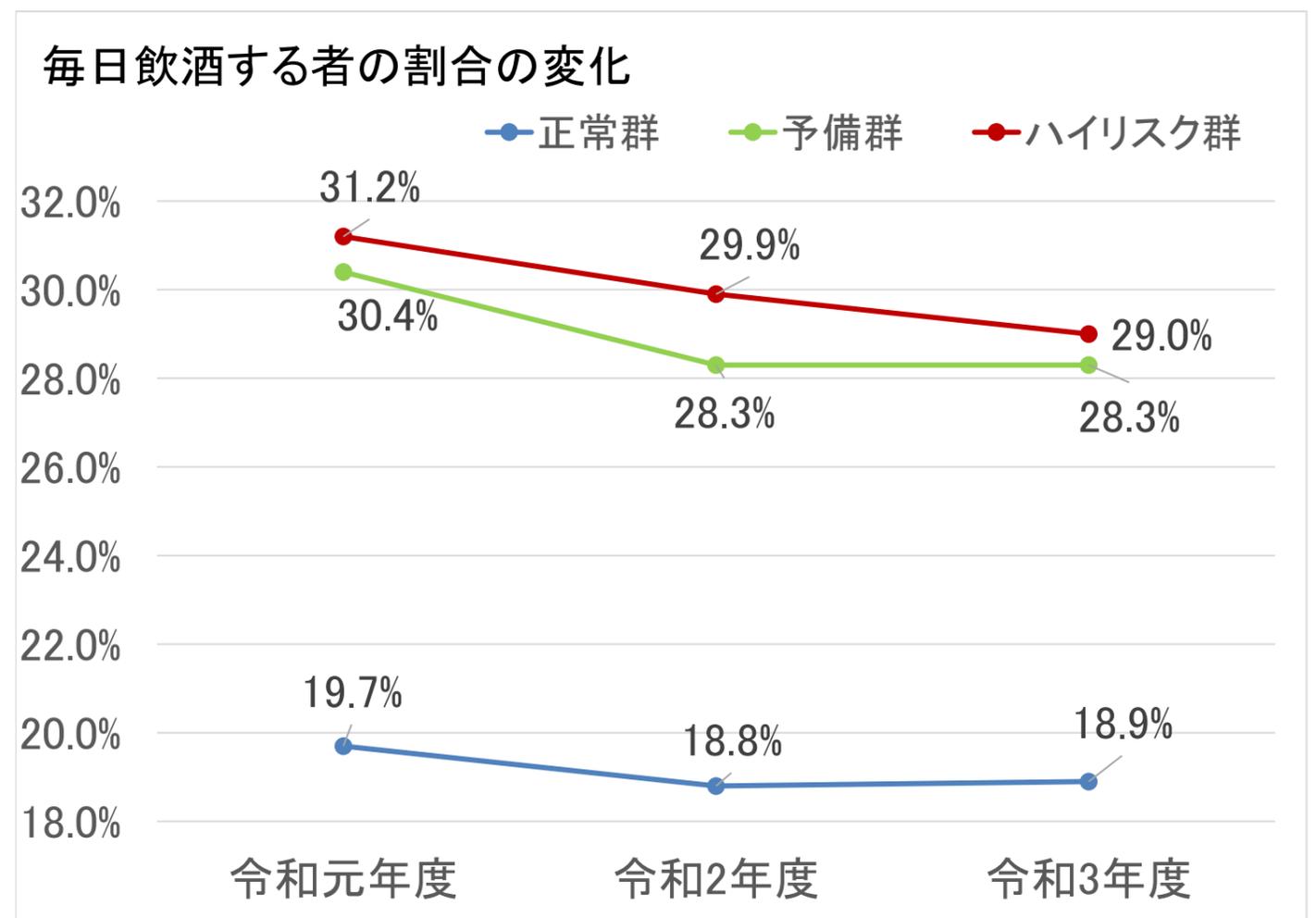
★予備群と正常群の飲酒頻度の差 ***P<0.001

令和3年度	予備群	正常群	合計(人)
毎日飲む	26,886	17,165	44,051
飲まない	40,044	44,946	84,990
合計	66,930	62,111	129,041

令和元年度も2年度も***P<0.001 飲酒の有無は、予備群か正常群で有意な差が得られた。ただ、正常群とHR群では有意な差は得られなかった。

毎日飲む者の割合は、圧倒的にハイリスク者の方が割合は高いが、ハイリスク者は右肩下がりに、年々減少している。しかし、正常者はほぼ横ばいである。

予備群は、令和2年度で減少したが、令和3年度は、横ばいと、HR群に近い割合である。



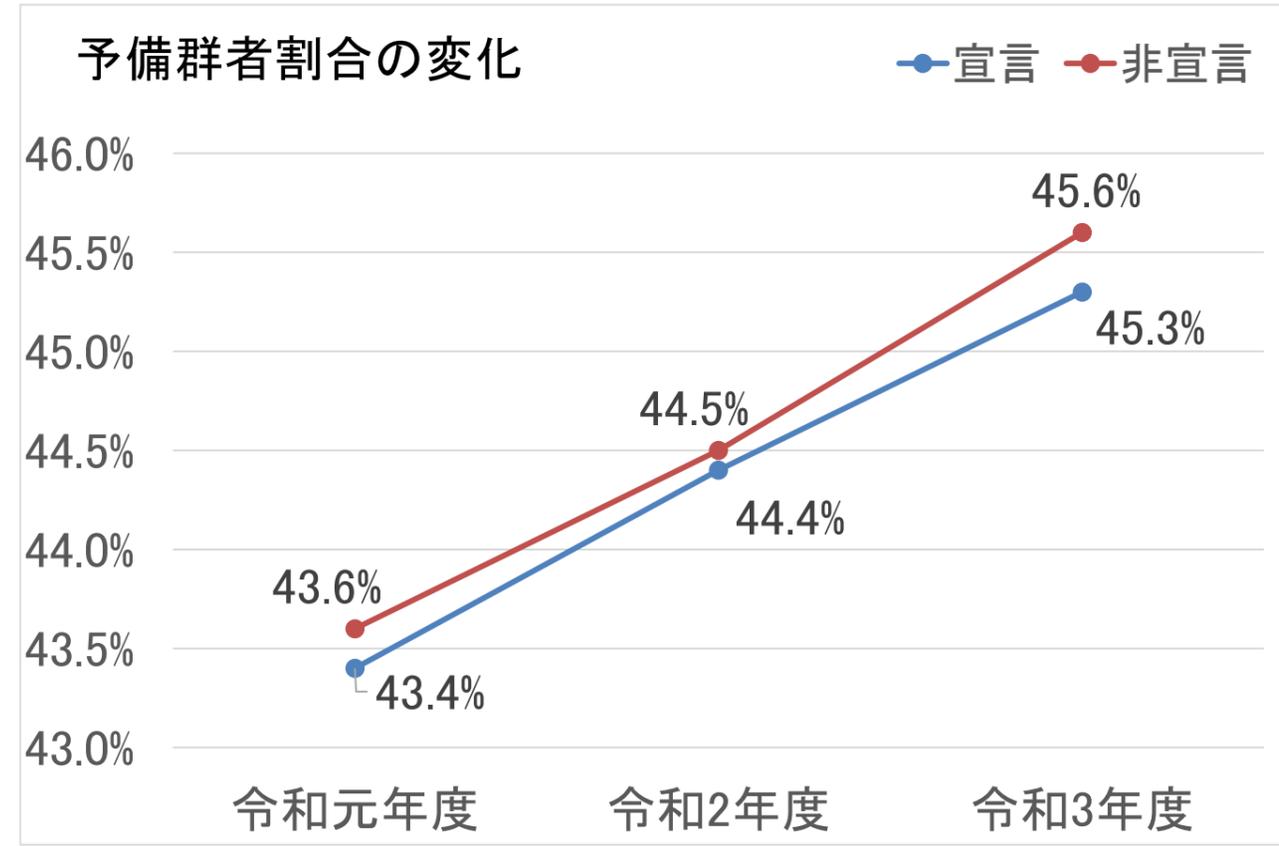
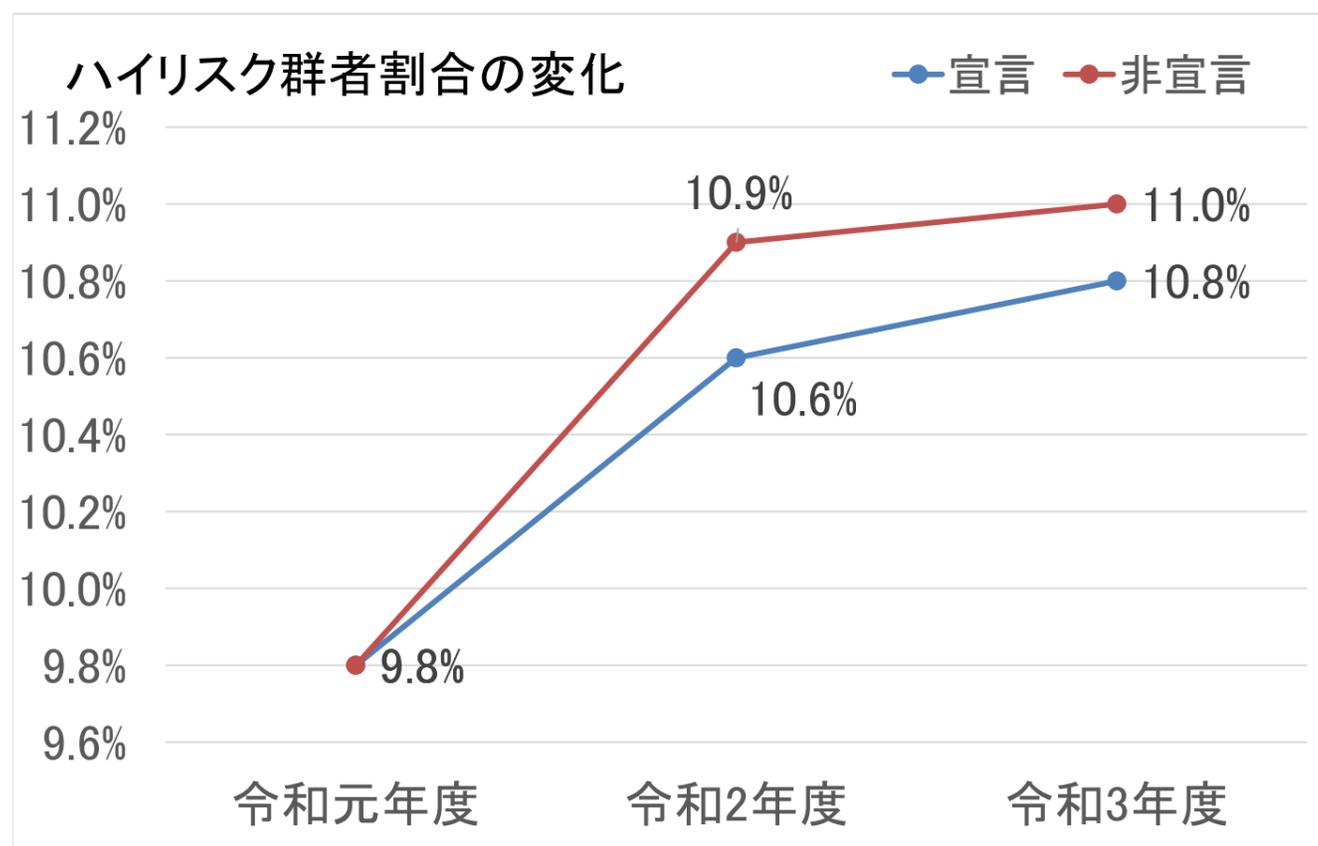
健康宣言別分析～宣言事業所と非宣言事業所～

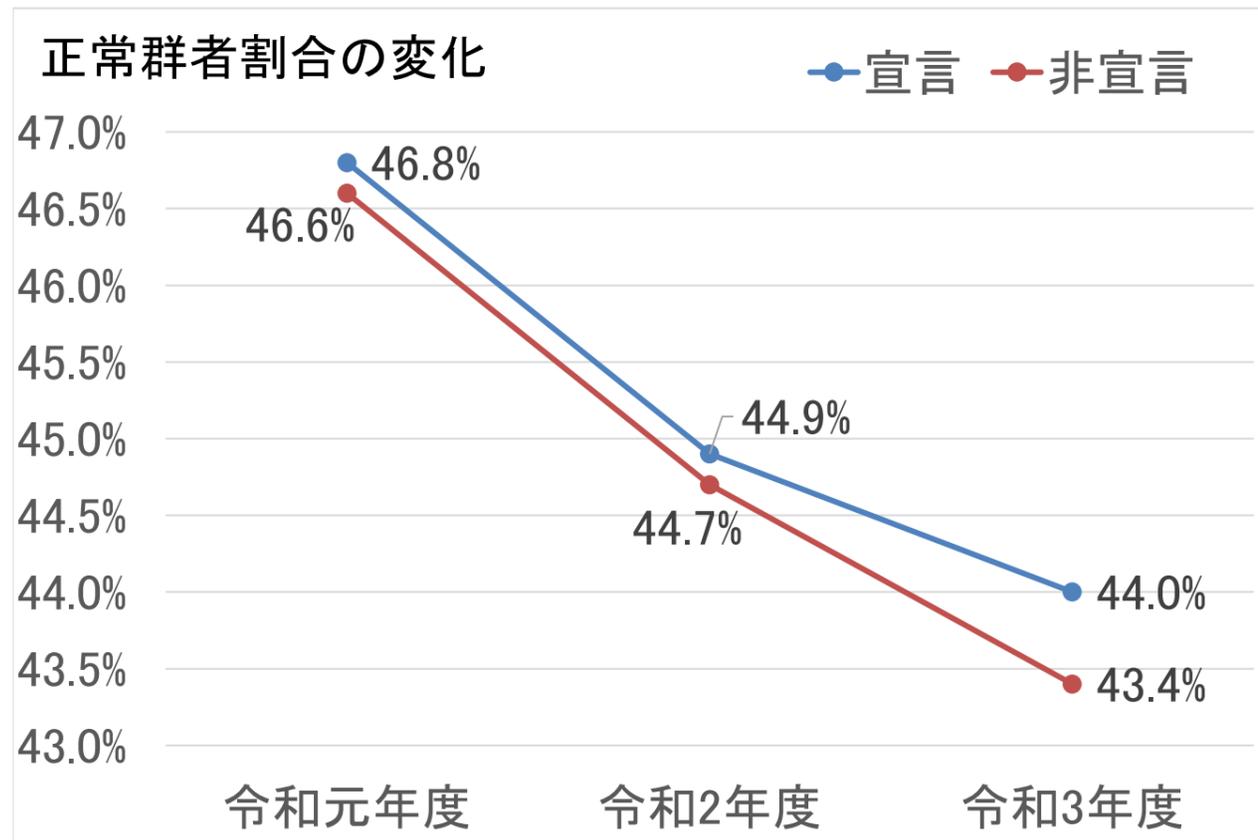
令和元年度～3年度
3年連続継続受診者 208,606人

宣言あり群 51,877人

宣言なし群 156,729人

【結果】





ハイリスク群、予備群に関しては、非宣言事業所の該当率が高く、正常群に関しては、宣言事業所の該当率が高かった。正常群の割合が、非宣言事業所で、元年度から3年度で3.2%減少した。

一方、宣言事業所では同様に2.8%減少と0.4%の差が認められた。

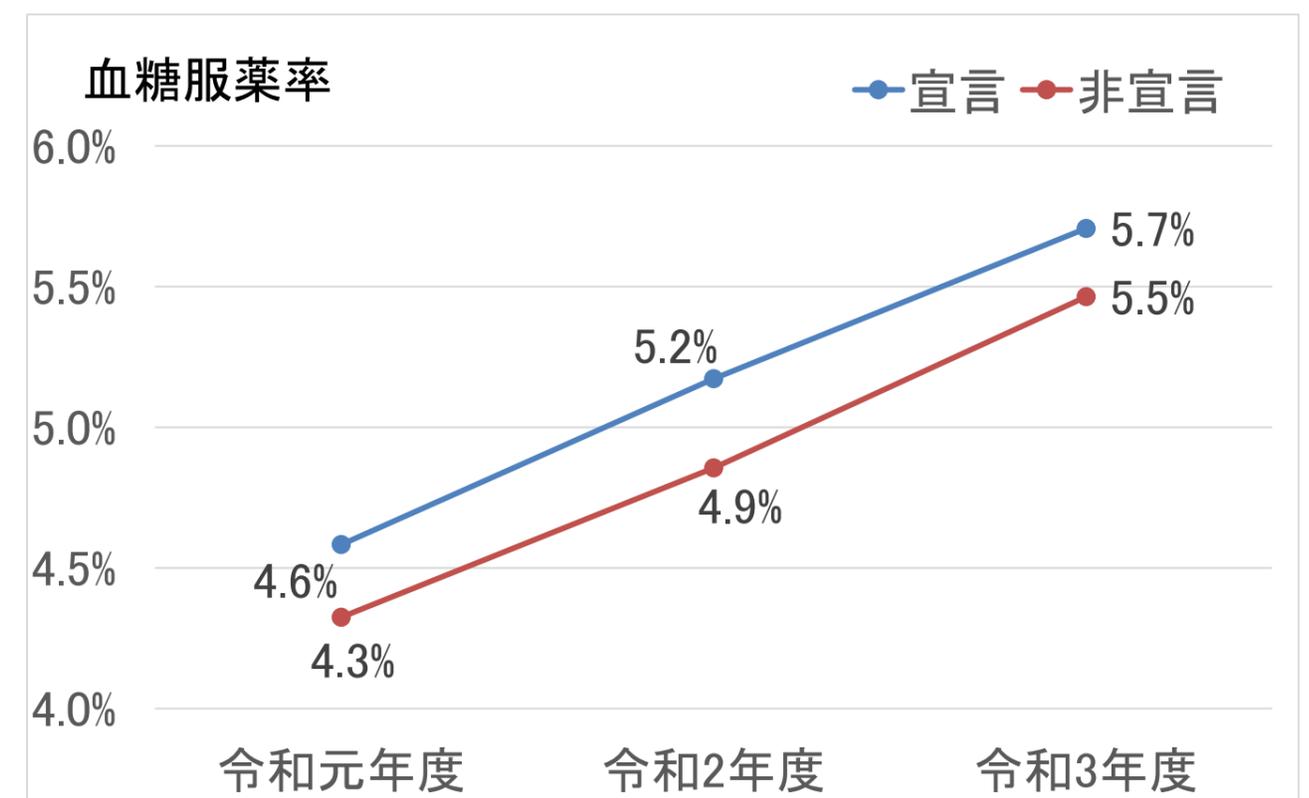
また、非宣言事業所の方が、元年度から3年度にかけて予備群が2.0%増加、HR群が1.2%増加した。

◎問診結果のカイ二乗検定

★宣言の有無で血糖服薬状況に関連はあるか ***P<0.05**

令和3年度	宣言あり	宣言なし	合計
血糖服薬あり	2,960	8,562	11,522
血糖服薬なし	48,910	148,158	197,068
合計	51,870	156,720	208,590

令和元年度*P<0.05 2年度も **P<0.01 宣言の有無は、血糖の服薬状況で、有意差な差が得られた。



★宣言実施後の喫煙の有無の状況は、経年で関連はあるか *****P<0.001**

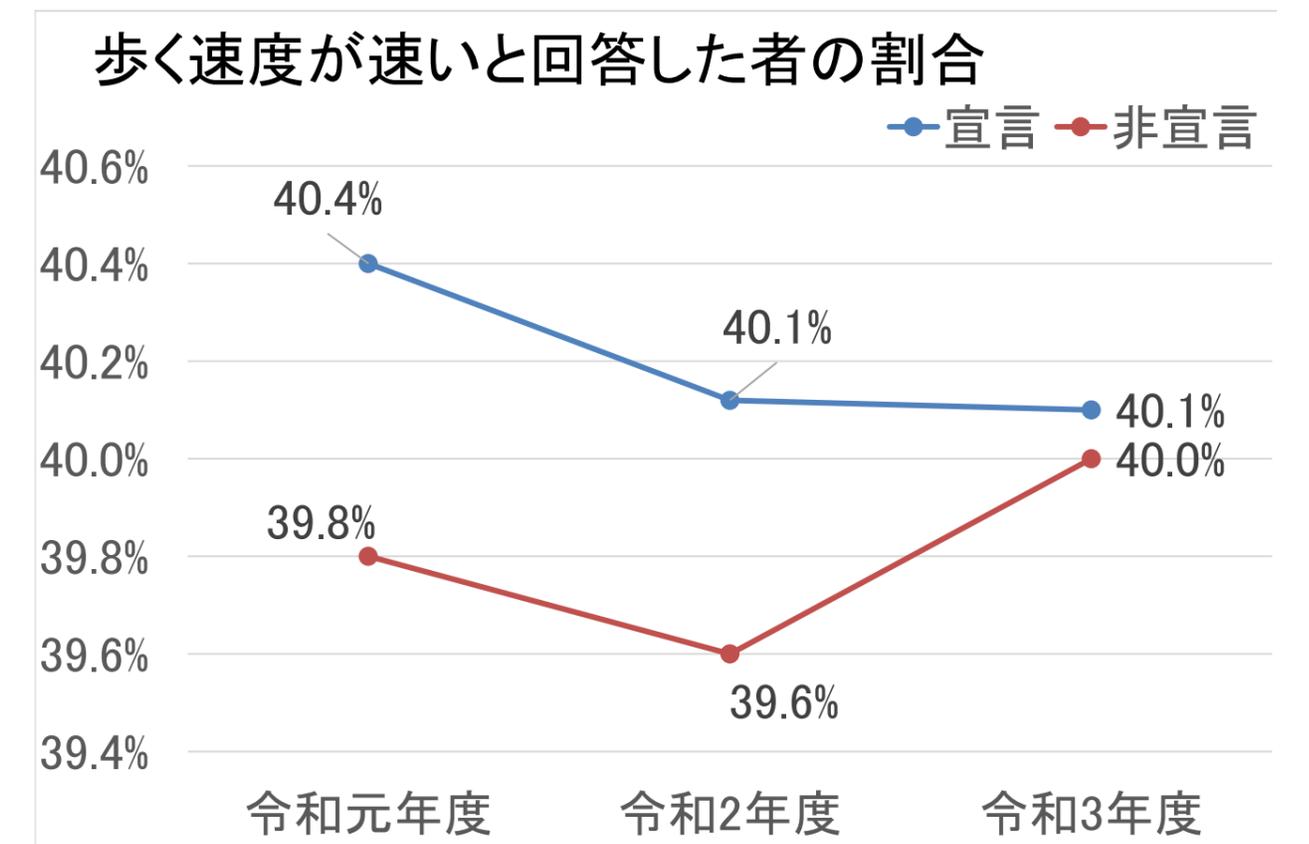
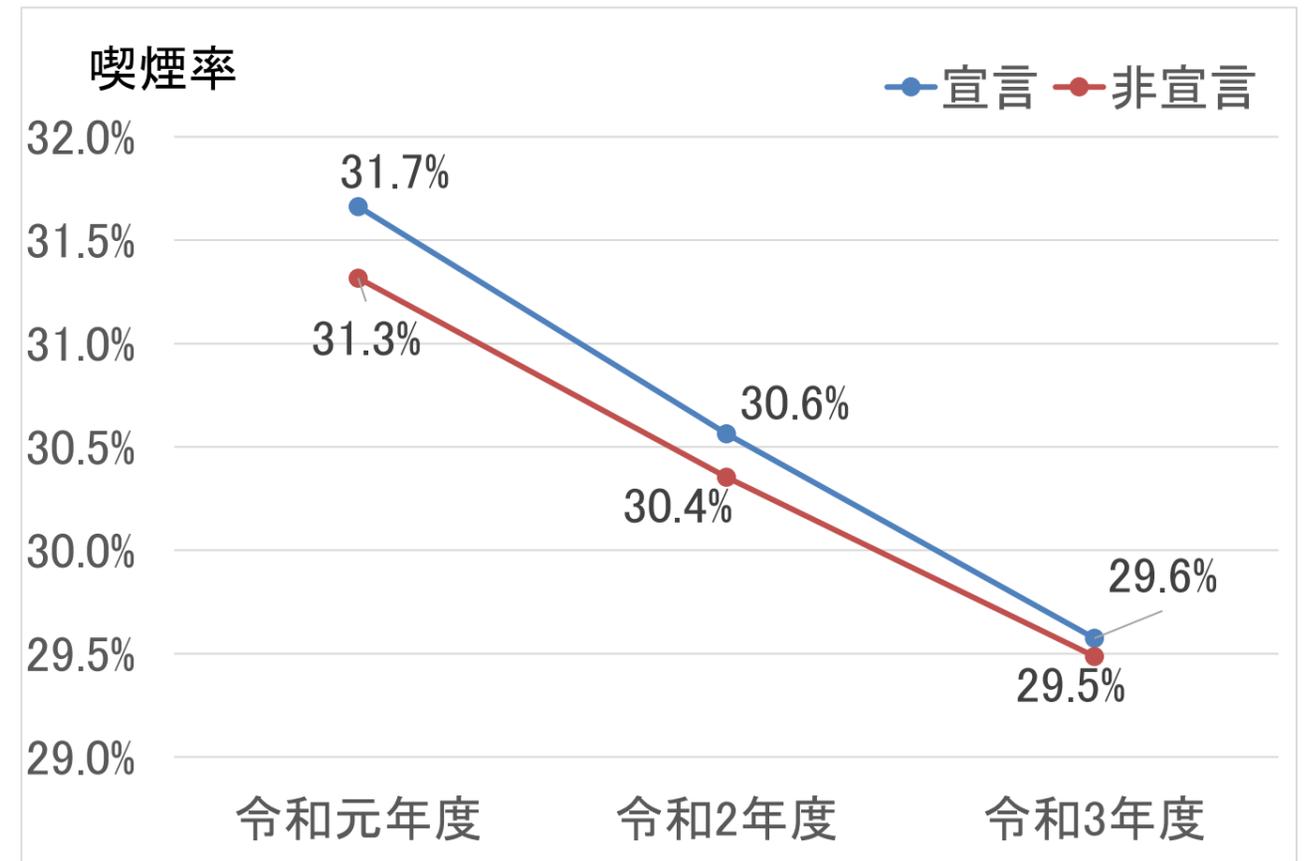
宣言あり	令和元年度	令和2年度	合計
喫煙あり	16,424	15,843	32,267
喫煙なし	35,448	35,994	71,442
合計	51,872	51,837	103,709

宣言の有無では、有意な差は得られなかったが、経年変化では、有意な差が得られた。喫煙率は、全体的に宣言事業所の方が高かった。しかし、非宣言事業所の喫煙状況の経年変化では、有意な差は得られなかった。宣言事業所の喫煙率は令和元年度から R3 年度で 2%以上減少し、非宣言事業所とほぼ同じとなっている。

★宣言有無 ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度が速いに関連はあるか ****P<0.01**

令和元年度	宣言あり	宣言なし	合計
歩く速度が速い	20,982	62,310	83,292
歩く速度が速くない	29,043	88,555	117,598
合計	50,025	150,865	200,890

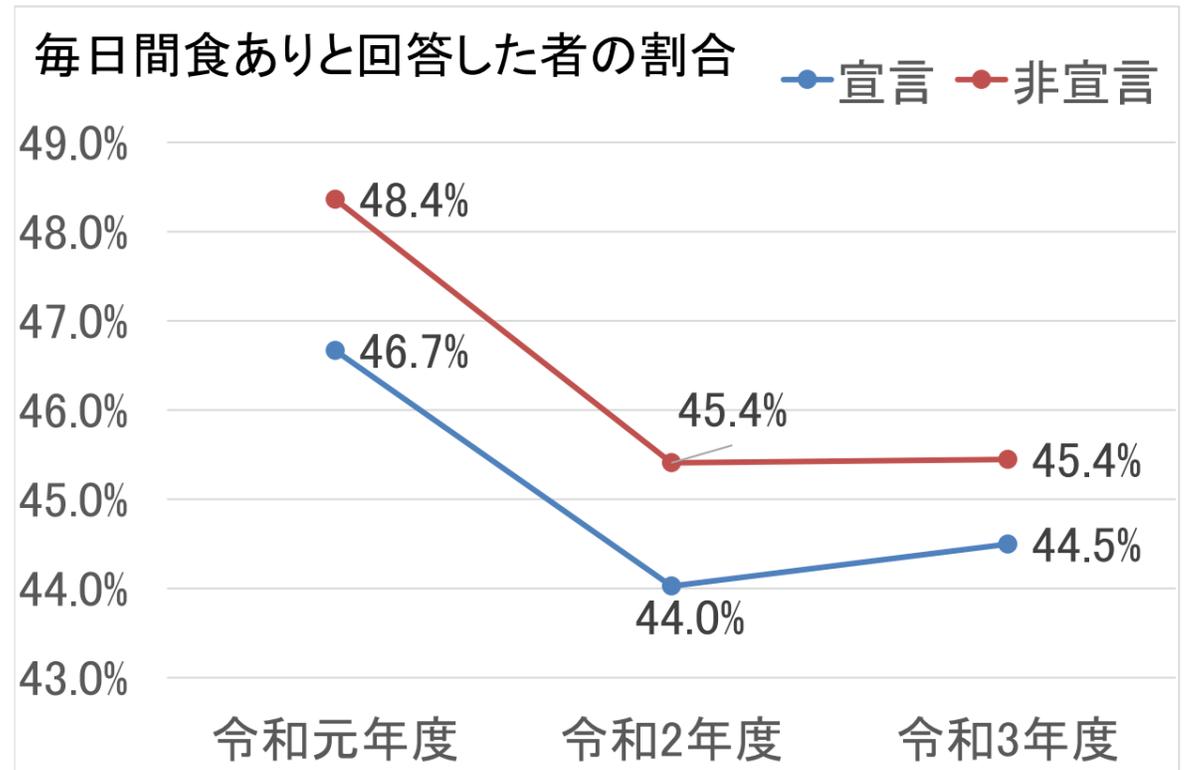
令和2年度も*P<0.05
ただし、経年比較は有意な差は得られなかった。



★宣言有無 間食や甘い飲み物を摂取に関連はあるか *****P<0.001**

令和2年度	宣言あり	宣言なし	合計
間食毎日	9,482	29,054	38,536
ほとんど摂取しない	11,828	34,878	46,706
合計	21,310	63,932	85,242

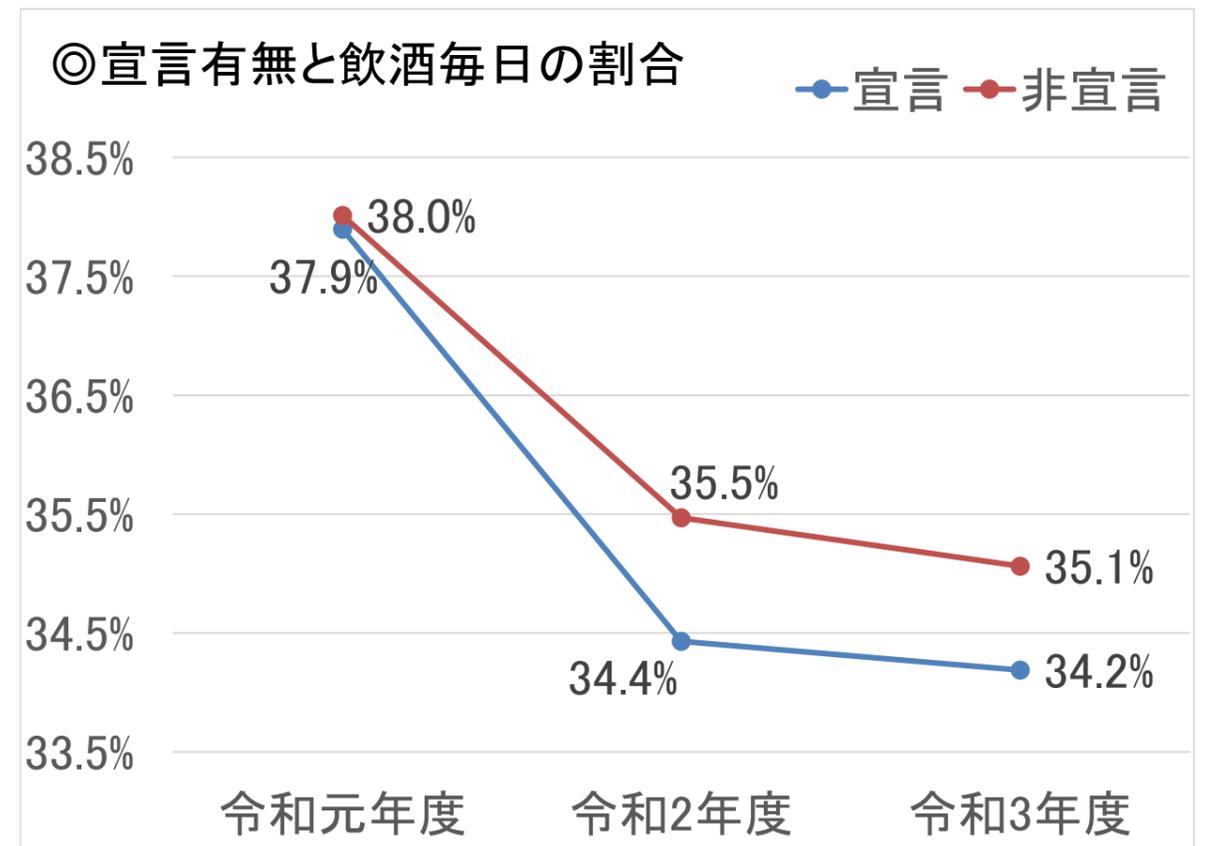
令和3年度*P<0.05 他経年変化や、宣言なしでは有意な差は得られず。



★宣言有無 飲酒状況に関連はあるか *****P<0.001**

令和2年度	宣言あり	宣言なし	合計
飲酒毎日	12,118	38,425	50,543
飲酒なし	23,077	69,904	92,981
合計	35,195	108,329	143,524

宣言ありの令和2年度と3年度も**P<0.01
また、非宣言の令和2年度と3年度でも有意な差は得られた。***P<0.001

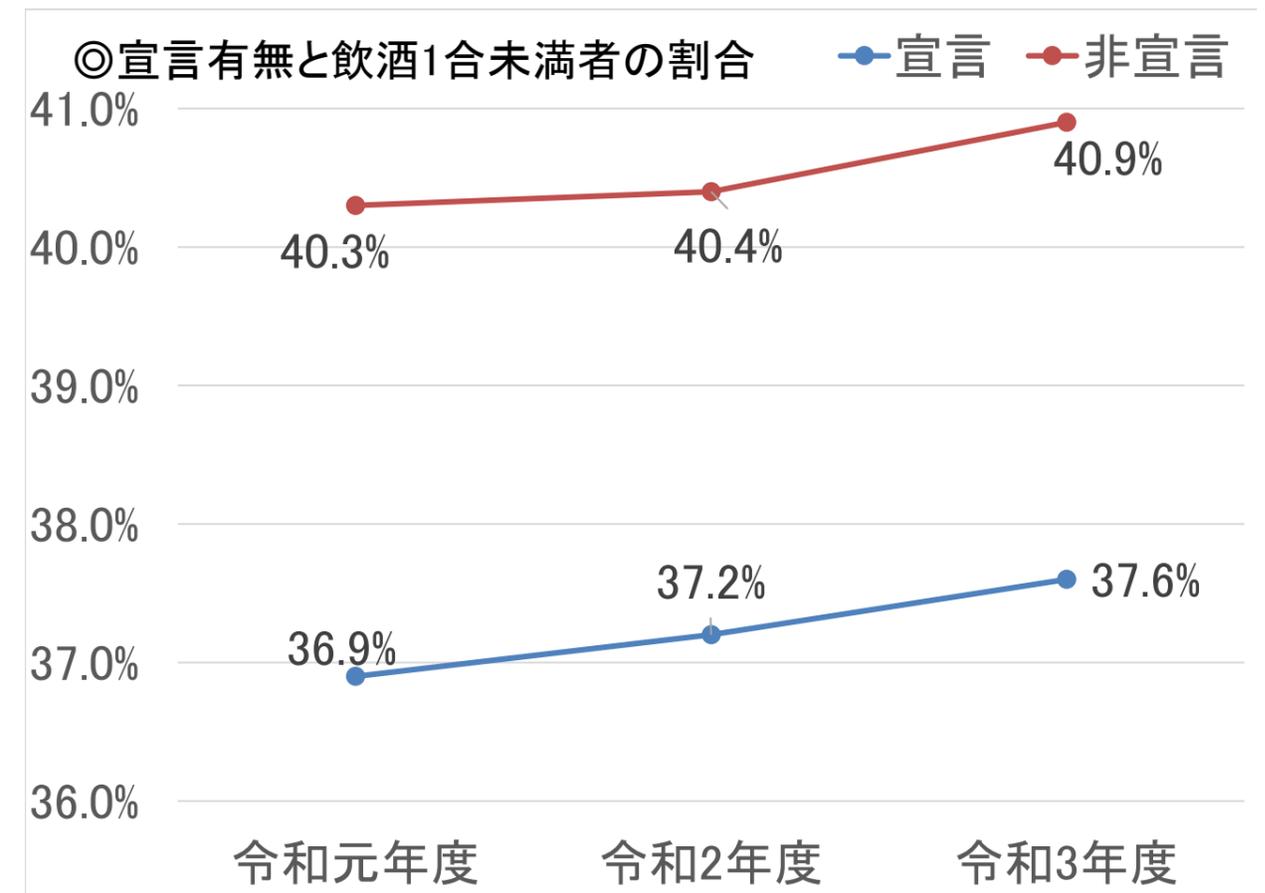


★宣言実施後と飲酒量に関連はあるか ****P<0.01**

宣言あり	令和元年度	令和2年度	合計
飲酒1合未満	19,168	19,304	38,472
飲酒3合以上	1,996	1,828	3,824
合計	21,164	21,132	42,296

令和2年度と3年度も****P<0.01**

飲酒では、宣言の有無と飲酒回数では、有意な差が認められた。特に令和元年度から2年度の毎日飲酒者の割合において、宣言事業所が3.5%減で、非宣言事業所も2.5%減と大きく減少した。



【結果まとめ】

❖ハイリスク群と正常群

○ 健診結果から

特に血圧の正常群から予備群に変化した割合が大きい。

○ 問診から

- ・週3回以上の朝食欠食 ・飲酒頻度 ⇒ ハイリスク群の方が有意に多い
- ・歩く速度が速い者の割合 ⇒ ハイリスク群の方が有意に少ない

❖宣言事業所と非宣言事業所

○ 健診結果からハイリスク群、予備群に関しては、非宣言事業所の方が割合は高く、正常者群に関しては、宣言事業所の方が割合は高かった。

○ 問診から

- ・血糖薬服薬状況 ・歩行速度 ⇒ 非宣言事業所群の方が有意に少ない
- ・飲酒状況 ・間食頻度 ⇒ 非宣言事業所群の方が有意に多い
- ・喫煙状況 ⇒ 宣言の有無では、有意な差は得られなかったが、経年変化では、宣言事業所の方が有意な差が得られた。宣言事業所群の方が喫煙率の減少割合が高かった。

【考察】

全体的に令和元年度から2年度にかけての割合の変化が大きい⇒ コロナ禍の影響が大きいと思われる。
ただ、2年度から3年度のいわゆるリバウンドも見られた。

❖ HR 群と正常群

- ・ 正常群割合が減少し予備群割合の増加 ⇒ コロナ禍による運動不足等によるものか。
予備群へのフォロー等の対策も必要か。

❖ 宣言事業所群と非宣言事業所群

- ・ **宣言事業所群の方が**、非宣言事業所群より**少ない**
⇒ 間食・毎日飲酒者、飲酒1合未満
- ・ **宣言事業所群の方が**、非宣言事業所群より**多い**
⇒ 喫煙率、歩く速度が速い

宣言事業所の方が健康意識が高く、健康づくりの取り組みを実践していると推察する。また、宣言事業所の喫煙率が非宣言事業所より高くなっていることから、喫煙を事業所の課題として捉え、健康宣言を行っている事業所が多いことが見て取れる。

【限界】

- リスク別分析等は、男女別や年齢別等の分析を実施していない
- 宣言事業所等の加入者の年齢や事業所規模等の分析は、行っていないので、後更なる分析が必要である。
- この分析は、協会のサービスである生活習慣病予防健診を受け、かつ、35歳以上の健診結果分析であるので、宣言事業所、非宣言事業所全体には当てはまらない部分がある。